

宮城県循環型社会形成推進計画(第3期)における目標値検討表

資料2

素案p11-13					第2期循環計画						第3期循環計画				備考	
					第2期の成果と、指標としての問題点など						採用したい指標(組替含む)		目標値の設定			
No.	項目	担当部局	担当課	担当班	目標	数値算出根拠	目標値 (令和2年度)	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	成果の概要等	指標	数値算出根拠	中間目標値 (R7年度)	目標値 (R12年度)	
1	一般廃棄物	環境生活部	循環型社会推進課	リサイクル推進班	1人1日当たりのごみ排出量(g/人・日)	一般廃棄物処理事業実態調査	930	988	992	972	H30年度は、震災以降最も少なくなりましたが、目標値の達成は難しい状況である。	第2期と同じ	第2期と同じ	(将来推計値) 957 (目標値) 933	(将来推計値) 952 (目標値) 910	第2期の目標を達成していない。 実績及び将来推計を踏まえ、 910g を目標とする。
1-1	一般廃棄物	環境生活部	循環型社会推進課	リサイクル推進班	1人1日当たりの生活系ごみ排出量(g/人・日)	一般廃棄物処理事業実態調査	645	684	683	668	震災後、着実に低下してきている。	第2期と同じ	第2期と同じ	(将来推計値) 656 (目標値) 641	(将来推計値) 654 (目標値) 625	
1-2	一般廃棄物	環境生活部	循環型社会推進課	リサイクル推進班	1人1日当たりの事業系ごみ排出量(g/人・日)	一般廃棄物処理事業実態調査	285	305	309	304	低下傾向にあるものの、目標の達成は難しい状況である。企業立地等により上昇する。	第2期と同じ	第2期と同じ	(将来推計値) 301 (目標値) 292	(将来推計値) 298 (目標値) 285	
2	一般廃棄物	環境生活部	循環型社会推進課	リサイクル推進班	リサイクル率(%)	一般廃棄物処理事業実態調査	30%	25.5%	26.1%	24.8%	横ばいで推移している。民間リサイクル量を把握できるまで値が左右される。	第2期と同じ	第2期と同じ	(将来推計値) 26.5% (目標値) 28.3%	(将来推計値) 26.6% (目標値) 30%	第2期の目標を達成していない。 実績及び将来推計を踏まえ、30%を目標とする。
3	一般廃棄物	環境生活部	循環型社会推進課	リサイクル推進班	最終処分率(%)	一般廃棄物処理事業実態調査	12%	11.9%	11.3%	11.7%	目標に達している。	第2期と同じ	第2期と同じ	(将来推計値) 11.0% (目標値) 10.7%	(将来推計値) 10.9% (目標値) 10.5%	第2期目標に達しており、実績及び将来推計を踏まえ10.5%を目標とする。
4	産業廃棄物	環境生活部	循環型社会推進課	リサイクル推進班	排出量(千t)	産業廃棄物実態調査	10,000	12,239	10,930	10,962	H28年度は過去10年間で最大となったが、H29年度は減少した。震災復旧工事が減少するため、今後低下していくと考えられる。	第2期と同じ	第2期と同じ	(将来推計値) 10,946 (目標値) 10,125	(将来推計値) 10,965 (目標値) 10,000	震災復旧工事の減少により今後低下していくと考えられ、10,000を目標とする。
5	産業廃棄物	環境生活部	循環型社会推進課	リサイクル推進班	リサイクル率(%)	産業廃棄物実態調査	35%	40.6%	39.5%	35.6%	がれき類の排出量が多いことから、目標を達成している状況である。	第2期と同じ	第2期と同じ	(将来推計値) 35.8% (目標値) 36%	(将来推計値) 36.1% (目標値) 35%	第2期目標(35%)を達成しているが、がれき類の排出が多いことによるものであり、今後低下していくことが想定される。第2期目標と同等の35%の維持を目標とする。
6	産業廃棄物	環境生活部	循環型社会推進課	リサイクル推進班	最終処分率(%)	産業廃棄物実態調査	1%	1.7%	1.6%	1.7%	減少傾向はあるものの、高止まりの状況が続いている。	第2期と同じ	第2期と同じ	(将来推計値) 1.7% (目標値) 1.3%	(将来推計値) 1.7% (目標値) 1%	実績及び将来推計を踏まえ、1%を目標とする。